

タカラバイオ株式会社 2021年3月期第1四半期決算(補足資料)

1. 2021年3月期第1四半期決算について 【決算短信 11 ページ】

- ・ 売上高は、前期比では、約 17 億円の減収となりました。主因は前期に製薬企業から受領した遺伝子治療に係るライセンス収入が今期には無かったことによります。
- ・ 研究用試薬では、新型コロナウイルス感染拡大の影響から国内外で顧客の研究開発のアクティビティが低下し、製品販売が低迷しました。新型コロナウイルス検出用の PCR 検査関連製品の売上は増加しましたが、前期比では減収となりました。受託サービスは、DNA ワクチン関連製造受託の寄与などにより大幅な増収となりました。
- ・ 営業利益は、減収による売上総利益の減益に加え、中期経営計画の方針に基づき、積極的な研究開発投資を行ったため前期に比べ減益となりました。
- ・ 売上高は、ほぼ予想通りに推移しました。また、営業利益は、製品構成の変化等による原価率の改善および販管費の減少などにより、予想を上回り進捗しています。

2. 2021年3月期の第2四半期および通期業績予想の修正について 【決算短信 12・13 ページ】

- ・ 前回業績予想(5月公表)は、主として新型コロナウイルス感染症拡大のダウンサイドリスクのみを織り込んだ業績予想でしたが、新型コロナウイルス検査用の PCR 関連製品や、DNA ワクチン関連の製造受託など、業績への寄与が期待できるアップサイドの要素を新たに業績予想に織り込み上方修正しました。
- ・ その結果、第2四半期では、売上高は約 25 億円、営業利益は約 18 億円、それぞれ前回予想から増加する見込みとなり、上半期の業績予想を上方修正しました。
- ・ 同様の理由から、通期では、売上高は約 58 億円、営業利益は約 20 億円と、それぞれ増加する見込みとなり、通期の業績予想を上方修正しました。
- ・ 修正業績予想では、新規臨床プロジェクトなどの研究開発に積極的に投資するため研究開発費は過去最高となります。同時に、売上高や各利益項目ともに過去最高となる見込です。特に、営業利益、経常利益は 12 期連続の増益となる予想です。

3. 新型コロナウイルス検査用のPCR関連製品について

- ・ 検体からウイルス RNA を精製する前処理工程を必要とせず、反応時間が1時間未満で、迅速、簡便に検査ができる PCR 検査用試薬(製品名: SARS-CoV-2 Direct Detection RT-qPCR Kit)を、5月1日より発売し、月産 2 万キット(200 万

反応)の製造・出荷体制を整え、PCR 検査体制の拡張、強化を支援しています。
(当社 2020 年 4 月 30 日リリース)

- ・ 発売開始直後から多方面から引き合いをいただき、国内では、衛生検査所、検査センター、医療機関等に納入しています。
- ・ 海外では、PCR 関連製品の原料となる PCR 酵素等の販売を中心とした活動を行っておりますが、こちらも、多くの引き合いをいただいています。
- ・ これらの PCR 検査関連製品への業績への影響については、研究用試薬として、2021 年 3 月期の第2四半期および通期業績予想に織り込んで発表しております。

4. DNA ワクチンの開発状況について

- ・ 大阪大学、アンジェス株式会社らのグループが進める新型コロナウイルス感染症向け DNA ワクチン開発に製造面で協力しています。
- ・ 臨床試験の状況は、開発を主導するアンジェス株式会社よりプレスリリースなどでアナウンスされております。現在、第 1/2 相臨床試験での低用量群の接種が完了し、高用量での接種を行っており、全ての接種完了後、経過観察の上で初期的な試験結果の公表を 2020 年秋頃に予定していると聞いております。(アンジェス株式会社 2020 年 7 月 22 日リリース)
- ・ DNA ワクチン関連の製造受託は当社の受託サービスの売上となりますが、業績への影響については、2021 年 3 月期の第2四半期および通期業績予想に織り込んでおります。

5. 腫瘍溶解性ウイルス C-REV の中国における独占的開発製造販売契約の解約について

- ・ 本年 5 月 11 日に C-REV の中国での開発について、Tasly Biopharmaceuticals 社(タスリーバイオファーマシューティカルズ)に独占的な開発・製造・販売を許諾するライセンス契約を同社と締結しましたが、その後の社会情勢(新型コロナウイルス感染症の世界的な流行)等を考慮し、両者で協議した結果、本契約を解約することとなりました。
- ・ 本契約の解約により、契約一時金および開発・販売の進捗に応じたマイルストーン達成金の売上収入等が見込みなくなります。本契約の解約による影響は、2021 年 3 月期の第2四半期および通期業績予想に織り込んで発表しております。

6. 米国子会社のハイスループットPCR検査法開発について

- ・ 本年6月10日に当社の米国子会社(Takara Bio USA, Inc.)が取引先企業とともに、新型コロナウイルスのハイスループットPCR検査法を開発し、取引先企業が米国FDAの緊急使用許可(EUA)を取得するために取り組んでいる旨、情報開示を行いました。しかしながら、本件については、現時点では緊急使用許可(EUA)は取得されておられません。

以上